

第 10 部会

1. セッション I で討議された内容 / 2. セッション II で討議された内容

昨年から3ヵ年計画で継続した活動を行っている。総員103名。3つの研究会にわけ、さらに細分化して研究課題の分野を同じくするメンバーでグループを編成し、自己の課題をとりあげて、個人発表および質疑応答や意見交換を行い、各自が設定した研究課題について具体的な解決・実行策の一つとして、研究グループでの活動が有効に活用されるような工夫をしている。もちろん103名の職員の一人一人が、期待される事務職員として、自分を見つめ直し、質の向上を求めていることは言うまでもないが、今年は、昨年からのグループ研究活動を通して、学院全体の一本化された事務職員の集団として必要な協力の連帯の輪が、学校間を超えて広がり、調和のとれた良好な関係が作られたことが成果としてあげることができる。

今年の教育会議では、このような経験をいかして進めてきた調査・研究の成果としての全員から提出された個人研究レポートの中から、以下に示す10名の職員による研究発表があった。さらに昨年の10月23日の第1回教育会議の中で、教育支援事務部会では、日本私立学校振興・共済事業団の私学活性化促進支援センター長による学校法人聖学院のいわゆる体力測定と健康診断があり、将来に向けた改革が必要な分析報告であったが、今回は内部のその方面の事務責任者によって、正確に捉えなおすことを目的とした講演があり、改めて全員が元気を取り戻し明るい希望を抱くことのできた今年の10月23日であった。

講演 学校法人会計財務諸表の見方について 経理局長 里子有三郎
講演 大学サバイバルのシナリオ 広報センター所長 山下 研一

研究発表

田中 真奈	自己表現力強化研究会	接遇を通して「神を仰ぎ人に仕う」
宮内 景子	自己表現力強化研究会	事務職に求められるもの
白岩 幸正	分析力強化研究会	学校法人の財務分析
山田 麻美	分析力強化研究会	学校図書館と著作権法
小浪 章豪	分析力強化研究会	生徒学生の意識変化とサービス・指導のまとめ
菊池 実	分析力強化研究会	学校事務に対する共通理解と事務処理の統一化・自動化
大漣 博司	分析力強化研究会	施設設備の維持管理について
木村 真	実践力強化研究会	補助金の獲得について
細淵 孝	実践力強化研究会	学校法人の収益事業
大島 陽一	実践力強化研究会	日本の高等教育機関の置かれた状況と課題

(研究発表用の資料集が、若干の残部があります。ご希望の方は部会長までご連絡下さい。)

教育支援事務

さらに、教育支援事務部会では、教育会議参加の全教職員にオール聖学院フェロシップ(A S F)に関するアンケートへのご協力をいただいた。ここに感謝と御礼を申し上げます。速報としての報告を資料として添付した。

3. 今後の課題、継続討議について

今年の教育会議終了後、早速部会を開き今年の反省と来年に向けた活動の確認を行った。本教育支援事務部会は、当初から3年計画の活動目標を設定しており、いよいよ仕上げの期間にあたる最終段階を迎えることとなってきた。今年全員が作成した個人研究レポートを来年までの間に実践することでレポートのレビューを行い、聖学院型の事務の成果としての報告書を発行し、次代への備えとしていきたい。さらに、事務の基本的な運営に効果が出るような部会委員の編集による「文書の書き方」を発行し、事務の幹部職員で構成されている部会委員の責任を果たしていきたい。なお、来年の教育会議当日には、今年と同様に研究発表の機会を持つことにしている。

(報告者：鈴木 嘉頭)